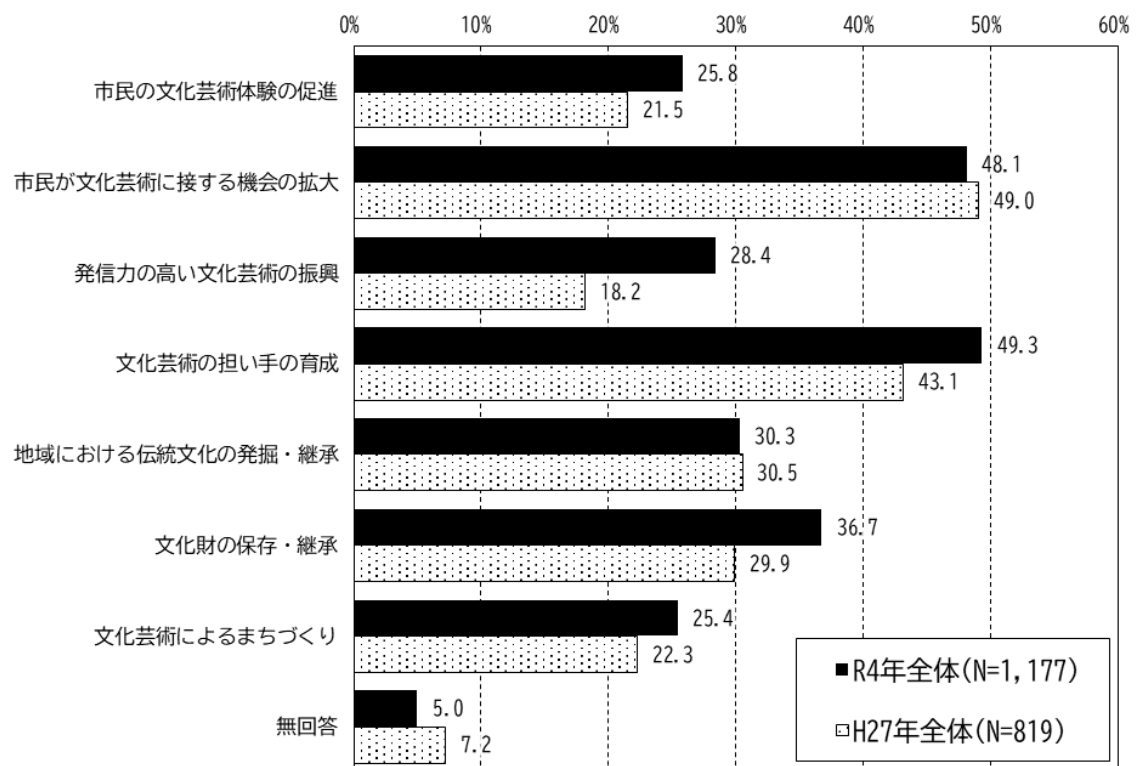


Q 注力してほしい文化芸術の取組について。(3つまで回答可)

文化や芸術について注力して欲しい取組みにしてみると、「文化芸術の担い手の育成」(49.3%)、「市民が文化芸術に接する機会の拡大」(48.1%)の順で高く、ともに全体の約半数を占めている。次いで「文化財の保存・継承」(36.7%)、「地域における伝統文化の発掘・継承」(30.3%)などの順となっている。

注力してほしい文化芸術の取組



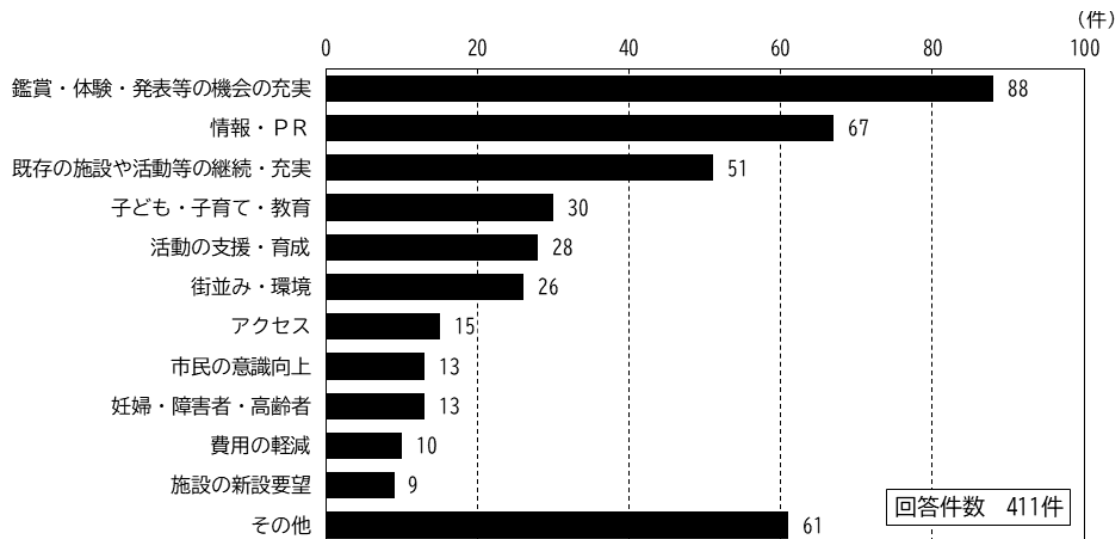
Q 北九州市の文化芸術に関する意見や要望について。(自由記述)

北九州市の文化や芸術についてのご意見・ご要望をカテゴリー別に整理した。

「鑑賞・体験・発表等の機会の充実」に関するご意見・ご要望が 88 件で最も多く、北九州市内でライブやミュージカル作品、人形劇、公募展、芸術祭や文化祭などの文化芸術に接する機会の拡大を望む声がみられる。

「情報・PR」(67 件)については、SNS やインターネット、テレビ・ラジオ、新聞や市政だよりでの文化・芸術についての情報発信の強化、「既存の施設や活動等の継続・充実」(51 件)については、北九州フィルム・コミッションによる「映画の街・北九州」の更なる発展、
 「子ども・子育て・教育」(30 件)については、これからの文化芸術の担い手育成のため、多くの子ども達に興味・関心を持ってもらう環境づくりを充実させてほしいとの要望などがあがっている。

文化や芸術に関する意見や要望の概要



《件数の多かった上位3カテゴリーの意見・要望（例）》

①鑑賞・体験・発表等の機会の充実

- ・ 民間の団体や若者など、文化に取り組みたい全ての人に機会が生まれやすい市であってほしいです。(10代)
- ・ あるあるCityを中心にポップカルチャー系のイベントを開催する動きがここ数年強まっており、人出の増加を感じる事が近年増えています。大衆向けに多くの動員を見込める興行と、数万人規模の動員は見込めないものの、全国からの来訪が見込めるイベントを行うのも良いと思います。(20代)
- ・ 北九州市はミュージカル作品の上映が少ないと感じます。有名な演者さんが出演する作品が多ければ北九州市に訪れる観光客も増え、北九州市の魅力にふれる機会をつくることができ、市全体の活性化につながると思います。(20代)
- ・ 北九州芸術劇場での舞台がいつも魅力的で、楽しみにしています。これからもっと素敵な作品を誘致してください。(30代)
- ・ 文化芸術、更に歴史にふれることは子ども達や多くの人々の心を豊かにし、移住者の増加や、例えば大学で外へ出たりした人がUターンしてくるなど、市への愛着を生むと思います。長期的な視点で個人を大切にしている取り組みを行ってくれることを期待しています。(30代)
- ・ 様々な所で、小さくていいから芸術にふれられるような街になったらいいと思います。(40代)
- ・ プロのアーティストや芸術作品を、もっと北九州市で見られるようにしてほしい。(50代)
- ・ 北九州市はジャズやロック等、音楽の文化がある。もっとそんな音楽イベントが増えると良いと思う。(60代)
- ・ 日常的に文化に触れられる環境づくりを期待します。(60代)
- ・ 年老いていきますと、近くの文化芸術にしか参加できなくなる。(70代)

②情報・PRについて

- ・まだ北九州には良い所がたくさんあると思うので、ぜひまだPR されていない、つまりフォーカスされていない場所をうまく使って、北九州市をうるおいに満ちあふれる土地にしてください。(10 代)
- ・北九州市にはある程度の文化財が揃っているとは思いますが、PR 等があまりうまくなく、減少を続ける人口に対して外部の人間を呼びよせる取り組みが拙いように感じます。(20 代)
- ・若年層はインスタグラム等の SNS を頻繁に使用しており、情報源としているが、情報があふれる中、堅苦しいものであればスルーする。発信元のセンスも重要であると感じる。(20 代)
- ・あまり知られていないイベントも多いように思うので、色々な方法で宣伝活動をしていただけると有り難い。(30 代)
- ・文化的成熟度をより高めることは、市外や海外へ北九州の魅力発信することにつながると思います。これからも文化芸術によるまちづくりの推進をぜひともお願いします。(30 代)
- ・東京に住んでいた時より、住民の方々の地元愛を感じる機会がたくさんあります。芸術劇場やソレイユホールなど素敵な劇場があるので、たくさんの舞台公演が開催されるよう、ぜひ PR をしていただきです。(40 代)
- ・情報誌を見ないと、どんな催し物があるのか知る機会を得ないのが現状だと思います。もっと、様々な世代の市民の目にとまるような取り組みが必要だと思います。(40 代)
- ・高齢者はスマホや PC も使えない方がいますので、テレビやラジオ、市政だより等で催事をもっとアピールしてほしいと思います。(50 代)
- ・車通勤、職場と自宅の往復、介護・子育て世代は日々の生活に追われ、情報が入ってくることが少ないです。(50 代)
- ・まだ知らないことがたくさんあると思います。知らない文化芸術に出会えると楽しみにしています。(60 代)

③既存の施設や活動等の継続・充実について

- ・映画の誘致が、街おこしには一番効果的と思う。(20代)
- ・アニメに強いので、その部分を伸ばす。(30代)
- ・北九州フィルム・コミッションは多くの実績があると、様々なところで拝見しています。北九州市の大きな文化芸術の1つであると思うので、今後を期待しています。(30代)
- ・夏休みに無料となっていたため、美術館や博物館に初めて行きました。行ってみるとおもしろい所もあれば、1回行けばいいと思う所もあった。何度も行きたくなるような場所になれば、「おもしろかったから行ってみて」と友人にもお勧めできて、発展につながるのではないかと。(30代)
- ・市政だよりを見ると、申し込みが往復はがきや電話によるものが多い。スマホやPCから申し込めるイベントが増えるとハードルが下がる。(40代)
- ・毎年、北九州国際音楽祭で素晴らしい演奏家の方々をお呼びいただき、またピアニストの登竜門であり歴史のある学生音楽コンクールの九州大会が響ホールで行われていたり、芸術分野において大変誇らしい環境であると思っています。(40代)
- ・子どもが学校からチラシをもらってくるので目を通しています。様々な取り組みをされているので、手がけたいと思いながらなかなか。引き続き、続けてほしいです。(40代)
- ・市の印象は、文化芸術について頑張っていると感じました。ただ、もう少し新しいものを取り入れていかなくてはならないとも考えています。(40代)
- ・日本中に北九州芸術劇場の素晴らしさが伝わってほしいと思います。あれだけ立派な劇場なので、たくさんのイベントに関わってほしいと思います。(50代)
- ・芸術劇場、響ホール、ひびしんホールと増えて、大分有名な方が来るようになり、また多くの人が出かけて行くような試みもされて、文化かおるまちに近づいたと思います。(70代)

2 子どもの文化や芸術に関するアンケート結果

(1) 調査の概要

北九州市における子どもの文化芸術活動の実態や保護者の希望を把握し、子どもを対象とした文化芸術施策を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的に、アンケート調査を実施しました。

項 目	概 要
調査対象	北九州市内の子育て世帯
調査方法	放課後児童クラブ利用者に質問紙を配布 WEBによる回答
サンプル数	調査票配布数 約1,000票 有効回収数 129票 有効回収率 約13%
調査時期	令和6年7月下旬～同年8月中旬

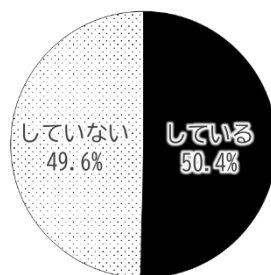
(2) 調査の結果（抜粋）

Q 学校以外における文化芸術活動の有無について。

放課後児童クラブ利用者の子どものうち、半数（50.4%）が学校以外で文化芸術活動を行っており、楽器が最も多い（33件）。

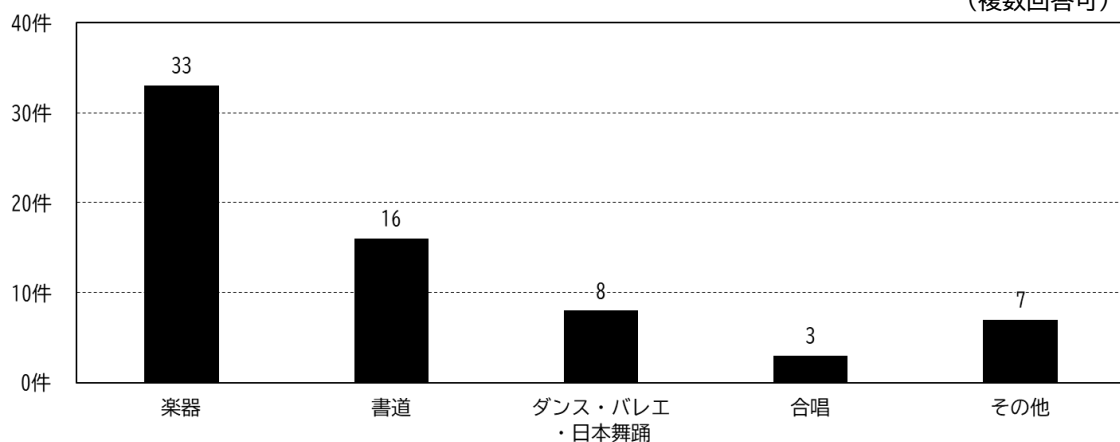
学校以外で文化芸術活動を行っていない理由は、「スポーツや塾等、他の活動をしている」が最も多い（33件）。

学校以外での文化芸術活動の有無



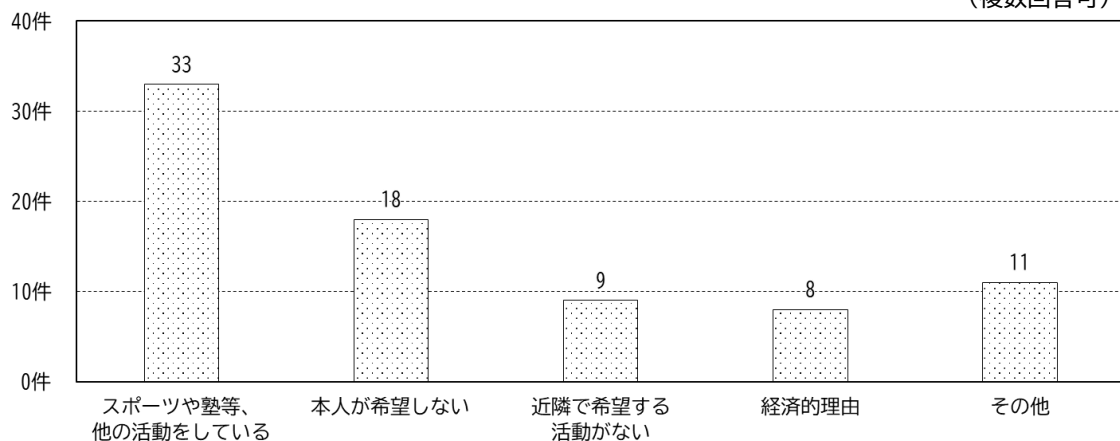
学校以外における文化芸術活動の内容

（複数回答可）



学校以外で文化芸術活動をしていない理由

（複数回答可）

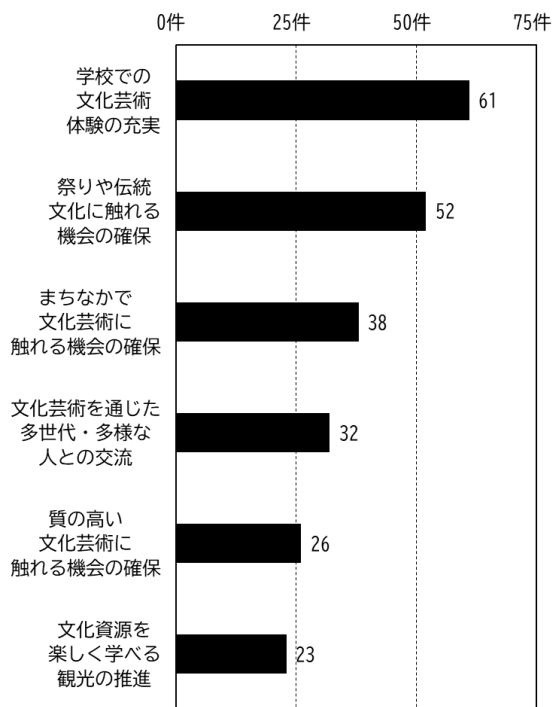


Q 子どもに対する文化芸術活動への期待について。

放課後児童クラブ利用者が、子どもを対象とした文化芸術施策で注力してほしいことは、「学校での文化芸術体験の充実」が最も多く（61件）、次いで「祭りや伝統文化に触れる機会の確保」が多い（52件）。

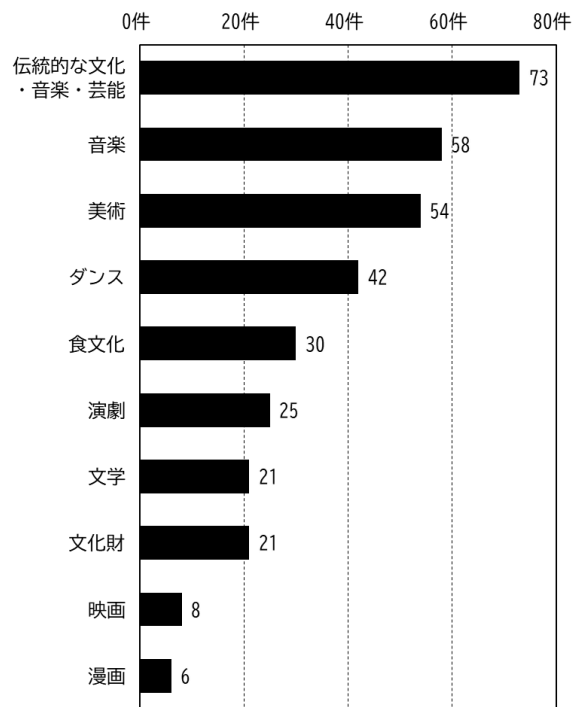
加えて、学校で経験してほしい文化芸術活動の分野としては「伝統的な文化・音楽・芸能」が最も多く（73件）、伝統文化等に関するニーズが高い。

子どもを対象とした文化芸術施策で注力してほしいこと



(複数回答可)

学校で経験してほしい文化芸術活動の分野



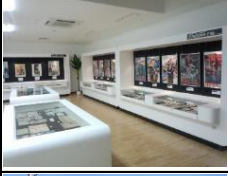
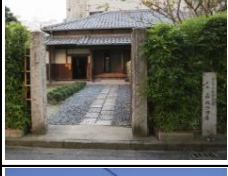
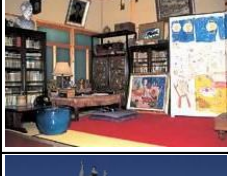
(複数回答可)

※ 画像・写真はイメージであり、成案後に作成する広報用冊子で差替予定
 ※ パブリックコメント等に基づく修正箇所を黄色でハイライト表示

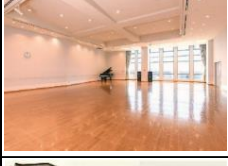
3 北九州市の文化施設の概要

施設名	所在地（電話番号）	施設内容	施設写真
北九州市立美術館 （本館・アネックス）	戸畑区 鞘ヶ谷町21番1号 （093-882-7777）	延床面積：10,664.38㎡ 開館：昭和49年11月 展示室、市民ギャラリー、収蔵庫	
北九州市立美術館 （分館）	小倉北区 室町一丁目1番1号 リバーウォーク北九州5階 （093-562-3215）	延床面積：1,657.00㎡ 開館：平成15年10月 展示室	
北九州市立美術館 （黒崎市民ギャラリー）	八幡西区 黒崎三丁目15番3号 コムシテイ3階 （093-644-5206）	延床面積：624.29㎡ 開館：平成25年4月 展示室	
北九州市立自然史・歴史博物館 （いのちのたび博物館）	八幡東区 東田二丁目4番1号 （093-681-1011）	延床面積：17,011.86㎡ 開館：平成14年11月 展示室、実習室、収蔵庫	
北九州市科学館 （スペースLABO）	八幡東区 東田四丁目1番1号 （093-671-4566）	延床面積：5,469.14㎡ 開館：令和4年4月 展示室、プラネタリウム、 天体観測室	
北九州市科学館分館 （スペースLABO ANNEX）	八幡東区 東田二丁目2番11号 （093-663-0550）	延床面積：3,196.73㎡ 開館：令和4年4月 プレゼンテーションスタジオ、多目的スペース、工房	
北九州市立こども文化会館	小倉北区 下道津四丁目3番2号 （093-592-4152）	延床面積：1,332.73㎡ 開館：昭和54年11月 児童劇場、工作室、プレイルーム	
北九州市立松本清張記念館	小倉北区 城内2番3号 （093-582-2761）	延床面積：3,391.69㎡ 開館：平成10年8月 展示室、映像ホール、会議室	
北九州市立文学館	小倉北区 城内4番1号 （093-571-1505）	延床面積：2,399.45㎡ 開館：平成18年11月 展示室、交流ひろば、映像コーナー	

※ 画像・写真はイメージであり、成案後に作成する広報用冊子で差替予定
 ※ パブリックコメント等に基づく修正箇所を黄色でハイライト表示

施設名	所在地（電話番号）	施設内容	施設写真
北九州市漫画ミュージアム	小倉北区 浅野二丁目14番5号 あるあるCity5・6階 (093-512-5077)	延床面積：2,330.80㎡ 開館：平成24年8月 展示室、閲覧ゾーン、イベントコーナー	
松永文庫	門司区 西海岸一丁目3番5号 旧大連航路上屋1階 (093-331-8013)	延床面積：290㎡ 開館：平成21年11月（平成25年7月に門司市民会館より現在地に移転） 展示室	
北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館	八幡西区 木屋瀬三丁目16番26号 (093-619-1149)	延床面積：2,405.03㎡ 開館：平成13年1月 みちの郷土史料館、こやのせ座 収容人員：300人	
森鷗外旧居	小倉北区 鍛冶町一丁目7番2号 (093-531-1604)	敷地面積：704㎡ 公開：昭和57年3月 文化財指定：昭和49年3月22日	
旧高崎家住宅 （伊馬春部生家）	八幡西区 木屋瀬四丁目12番5号 (093-618-2132)	敷地面積：653㎡ 公開：平成9年4月 文化財指定：平成6年3月30日	
立場茶屋銀杏屋	八幡西区 石坂一丁目4番6号 (093-618-1836)	敷地面積：645㎡ 公開：平成11年7月 文化財指定：平成8年3月27日	
火野葦平旧居「河伯洞」	若松区 白山一丁目16番18号 (093-771-0124)	敷地面積：591㎡ 公開：平成11年1月 文化財指定：平成9年3月27日	
北九州市立火野葦平資料館	若松区 本町三丁目13番1号 若松市民会館内 (093-751-8880)	延床面積：220㎡ 開館：昭和60年7月 展示室	
東田第一高炉史跡広場	八幡東区 東田二丁目3番12号 (093-582-2391)	敷地面積：約14,000㎡ 高さ：70.5m 公開：平成11年7月 文化財指定：平成8年3月27日	
北九州市立埋蔵文化財センター	小倉北区 金田一丁目1番3号 (093-592-3196)	延床面積：2,606.49㎡ 開館：昭和58年4月 展示室、収蔵庫	

※ 画像・写真はイメージであり、成案後に作成する広報用冊子で差替予定
 ※ パブリックコメント等に基づく修正箇所を黄色でハイライト表示

施設名	所在地（電話番号）	施設内容	施設写真
北九州芸術劇場 (J:COM北九州芸術劇場)	小倉北区 室町一丁目1番1号 リバーウォーク北九州内 (093-562-2655)	延床面積：17,740.00㎡ 開館：平成15年8月 収容人員：大ホール1,269人 中劇場 700人 小劇場 216人	
北九州市立響ホール	八幡東区 平野一丁目1番1号 (093-662-4010)	延床面積：3,589.42㎡ 開館：平成5年7月 収容人員：ホール720人	
北九州市立黒崎文化ホール (黒崎ひびしんホール)	八幡西区 岸の浦二丁目1番1号 (093-621-4566)	延床面積：8,755.83㎡ 開館：平成24年7月 収容人員：大ホール826人 中ホール310人	
北九州市立門司市民会館	門司区 老松町3番2号 (093-321-2907)	延床面積：3,743.43㎡ 開館：昭和33年2月 収容人員：大ホール800人	
北九州市立若松市民会館	若松区 本町三丁目13番1号 (093-771-8131)	延床面積：5,365.71㎡ 開館：昭和60年7月 収容人員：大ホール800人	
北九州市立戸畑市民会館	戸畑区 汐井町1番6号 (093-871-7200)	延床面積：8,445.76㎡ 開館：平成14年12月 収容人員：大ホール800人 中ホール300人	
北九州市立大手町練習場	小倉北区 大手町11番4号 大手町ビル9・10階 (093-583-5533)	延床面積：2,062.86㎡ 開館：平成7年7月 大練習室、中練習室2室、小練習室 8室等	
北九州市立旧百三十銀行 ギャラリー	八幡東区 西本町一丁目20番2号 (093-661-9130)	延床面積：307.51㎡ 開館：平成5年10月 展示室	
ザ・スティーल・ハウス 北九州ソレイユホール	小倉北区 大手町12番3号 (093-592-5405)	延床面積：9,612.00㎡ 竣工：昭和59年3月 取得：平成22年3月 収容人員：ホール2,008席	

4 北九州市文化芸術推進プラン策定過程

本プランの策定にあたっては、「北九州市文化芸術推進プラン検討会」を設置し、有識者等の意見を伺うとともに、文化芸術団体や文化芸術イベント参加者、将来を担うZ世代や子育て世帯などへの意見聴取やアンケートを実施し、幅広く意見を伺いました。

《策定の過程》

日 程	概 要
令和6年 6月25日	第1回検討会 ・北九州市文化芸術推進プラン骨子案に関する 意見交換
7月～8月	子育て世帯へのアンケート調査 Z世代へのヒアリング
8月21日	第2回検討会 ・北九州市文化芸術推進プラン素案に関する意 見交換
10月～11月	パブリックコメント実施
11月25日	第3回検討会 ・北九州市文化芸術推進プラン最終案に関する 意見交換

《北九州市文化芸術推進プラン検討会構成員》

氏 名	役 職
おおしま 大島 まな	元 九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター 所長
くぼやま まさひこ 久保山 雅彦	(公財)北九州市芸術文化振興財団 理事長
しらべ ひろちか 調 弘誓	NHK 北九州放送局 局長
とやま のりこ 外山 典子	北九州市立藤木小学校 校長
はたの たかし 羽田野 隆士	北九州商工会議所 専務理事
ふじいし みさと 藤石 美里	西南女学院大学 人文学部 観光文化学科 学生
みなみ ひろし 南 博	北九州市立大学 地域戦略研究所 教授
むろぞの てつこ 室園 哲子	北九州文化連盟 常務理事

北九州市歌

北九州市選定
 平尾一男 作詞
 長谷川良夫 作曲

力強く ♩=112

1. やまなみに あさの ひはーえ て げん か い
 の なみ う つとこー ろ きぼー う もて ひら
 け しま ち に たく まーしーき しみ ん の い ぶ
 き あ あ わ が 市 き た きゅー
 しゅう しゅう ー

一、
 山脈に 朝の陽映えて
 玄海の 波うつところ
 希望もて ひらけしまちに
 たくましき 市民のいぶき
 ああ わが市 北九州

二、
 くれないに 熔炉は燃えて
 紺碧の 大空高く
 美しき 若戸の橋に
 天かける 理想はきよし
 ああ わが市 北九州

三、
 海遠く 幸を求めて
 伸びゆくは 若き力ぞ
 大いなる 光の下に
 躍進の 未来をめざさん
 ああ わが市 北九州



北九州市民憲章

わたしたちのまち北九州市は、美しい自然に恵まれ、ながい歴史とたくましい産業をうけついできました。

わたしたち北九州市民は、このまちを愛し、よりいっそうの市民参加によるまちづくりをめざしています。

このふるさとに、実りある未来を築くため、わたしたちは、みんなで守る約束を定めます。

緑を豊かに 清潔で美しいまちにします

きまりを守り 安全なまちにします

人を大切にし ふれあいの輪をひろげます

元気で働き 明るい家庭をつくれます

学ぶ楽しさを深め 文化のかおるまちにします

北九州市文化芸術推進プラン

発行年月日	令和 年 月
編集・発行	北九州市（都市ブランド創造局総務文化部文化企画課）
連絡先	〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 TEL 093-582-2391 FAX 093-581-5755